

## 【全体会合】

両省を代表して菊地技監、アニータ事務次官から開会挨拶の後に、日本側から「中部スラウェシ州における地震・津波の調査結果」、「日本の建築物の耐震基準」、「液化化に関するアセスメントと対策」、「東日本大震災からの復興における都市政策」について、インドネシア側から「近年の橋梁耐震の取り組み」、「公共インフラにおける地震対策」、「津波対策」について、それぞれ経験や事例などを紹介し、意見交換を行いました。

また、全体会合の最後に、議論の内容に関する議事録に署名・交換を行いました。



全体会合会場



集合写真

## 【個別分科会】

「水・防災」、「道路」、「下水道」、「建築住宅」、及び「建設」の5分野について、具体的な施策の紹介やプロジェクトの現状報告、意見交換等を行いました。

### ○水・防災分科会

- ・日本側からダム施設の維持管理、津波対策、北海道東部胆振地震等について、インドネシア側からダムの早期警戒システム改善、海岸線における津波リスク軽減について紹介し、意見交換を行いました。

### ○道路分科会

- ・日本側から道路施設の防災対策の概要、道路整備における軟弱地盤対策、橋梁点検方法について、インドネシア側から道路における地震・軟弱地盤対策について紹介し、意見交換を行いました。

### ○下水道分科会

- ・日本側から下水道BCPや施設・管路の防災対策について、インドネシア側からインドネシアの下水道の現状について紹介し、常時と非常時の両方を考慮した計画や設計を行うことについて意見交換を行いました。

### ○建築住宅分科会

- ・日本側から災害前後の住宅・建築政策、住宅金融支援機構による災害関連の住宅ローンについて、インドネシア側から災害に強い建築、災害後の復旧・復興計画について紹介し、意見交換を行いました。

### ○都市分科会

- ・日本側から、公共交通指向型開発（TOD）について、インドネシア側から島しょ部の防災インフラ計画について紹介し、意見交換を行いました。